

# 令和元年度 第8回 理事会議事録

日時：令和元年12月24日（火）19：00～21：00

場所：県士会事務所

出席：(理事) 小林(伸)、磯野、小林(司)、三科、有泉、  
井村、名取、北山、古屋、鈴木、大西  
(部長) 入倉

書記：五味

## 会員管理情報

慶事0件 弔事0件 施設数135

会員数910名 (施設846名 自宅64名)

小林会長より

12月10日(火)に山梨県理学療法士連盟の研修会があり挨拶を行った。12月14日(土)は日本在宅ホスピスケアの研修会と関東甲信越のケアマネ研修会の開会式に臨席させていただいた。また、12月21日(土)に東京で行われた日本理学療法士連盟の集會等に参加した。

その中で、診療報酬の改定で精神科領域の高齢化による廃用症候群についてPTが関与できないか相談があった。また、義肢装具関係についても医師や義肢装具士との関わり方等原点回帰が必要となるのではないかと話題となった。

年度が変わると総会、役員選挙当等がありますが、まずは年度末まで頑張って取り組んでください。

## I. 審議事項 (全1題)

### 1. 旅費規程、行動費規定の改正について (有泉局長)

旅費規定の改正について、代理者の出席者について明記し、宿泊を要す旅行についても明記した。また、移動手段で自家用車の使用(移動距離に対しての旅費等)や特別急行や新幹線、航空機の使用についても明記した。

行動費規定の改正について第三条・第四条とそれぞれの行動費対象事業を挙げた。

第三条1：外部団体(協会、行政機関、関係団体)が主催側の会議や事業、研修会に参加した場合。

- ・4時間以内だった場合3,000円を支給する
- ・4時間以上(1日)の場合は5,000円を支給する
- ・2日目以降は3,000円を支給する

※いずれも移動時間を除いた参加時間

(例)

- ・式典等(健大：入学式、卒業式、関プロ士会〇〇記念式典、〇〇学会開会式臨席依頼)
- ・関プロ各種会議(士会長会議、働きやすい環境創り検討委員会、スポーツ理学療法、学術集會部等)
- ・全国PT連盟関係会議
- ・全国規模での研修(シルバーリハビリ、JIMTE等)

以上に該当する事業は年20回程度で全てを1日事業として換算すると年100,000円。宿泊を伴う2日間事業がその半数を占めるとして年30,000円の支出増となる。また、3日間にわたる事業や予定に無い事業等が入ってきた場合は200,000円程度の予算増となる予測となる。

第四条1：当士会が主催または参画する研修会や事業に参加した場合

- ・4時間以内では2,000円を支給する
- ・4時間以上(1日)では4,000円を支給する
- ・2日目以降は2,000円を支給する

※いずれも移動時間を除いた参加時間

(例)

- ・委託事業部関係(謝金等が無い郷育フォーラムや自治会主催研修)
- ・各種事業スタッフ(公開講座、学術大会、企画研修部研修、地域PT等)
- ・広報局(各取材、PTの日活動スタッフ)
- ・POS団体協議会等他団体との共同事業スタッフ(ねりんピック)

②に該当する事業では各局の事業におけるスタッフ数などもう少し詳細に検討する必要があるが、1日事業換算で延べ100人程度のスタッフとすると年400,000円の予算増となる予測となる。

以上の①、②合計で年600,000円程度が必要となる。

また、他の団体等から謝金を支払われた場合は①②いずれも該当しないものとする。

(意見)

- ・現在の財政状況から永続的な支出は可能か
- ・他局・部を交えた事業での費用の算出はどちらの局・部が行うべきか
- ・事業が中止(荒天等により)となった場合でも謝金は発生するのか
- ・部員数が多い局・部や研修参加人数により協力者数に偏りがある場合があるがどう考えるか

## 結論

旅費については承認された。

行動費については様々な意見について検討が必要である。支出部分については年ごとの繰越金やメーリング配信システムの導入により資料等の送料が掛らなくなることでその分を財源として考えていく。他局・部を交えた事業となった時は原則として依頼元から費用が発生するものとする。事業ごとの参加人数に対して協力者人数の割り当てを今年1年の事業からシミュレーションを行い、場合によっては協力者の人数に上限を定めることも検討する。来年4月から施行開始を目指す。

## II. 報告事項 (全6題)

### 1. 各種委員会報告

- ・選挙管理委員会

代議員選挙について1月より開始となる。山梨県は今まで代議員3名、補欠2名を選出していたが、今回は代議員4名、補欠2名の計6名を選出することになった。

- ・表彰委員会：報告なし
- ・士会支部組織化検討委員会

秋ごろより郡内地域の施設代表者等で集まることを企画しメールを送信したが、大月市立中央病院と上野原の整形外科医院から返事なし。市町村の範囲が広いこともあるので、今後スカイプなど遠隔での集会参加も可能か検討し、2月頃を目途に計画していく。

- ・糖尿病対策推進委員会：報告なし
- ・訪問理学療法委員会：報告なし
- ・災害対策支援委員会：報告なし
- ・特別支援教育委員会：報告なし
- ・認知症対策委員会：報告なし
- ・がんリハ対策推進委員会：報告なし
- ・やまなし地域リハ・ケアを考える会：報告なし
- ・オリ・パラスポーツ委員会

スポーツ運営担当者会議が11月30日(土)に田町カルフアレンスルームで開催された。

オリパラ採用者の研修について、オリパラに9名採用となり1月18日(土)～19日(日)に5名、1月25日(土)～26日(日)に3名、2月29日(土)～3月1日(日)に1名参加予定。競技推薦2名は2月と3月に日帰りで1回ずつ役割別必須研修に参加する予定。それぞれ交通宿泊費の支給を予定している。

- ・働きやすい環境創り検討委員会
- ・山梨県リハ専門職団体協議会

県よりフレイルトレーナーの養成をしたいとの依頼がありPT、OT、ST、栄養士、歯科衛生士を各圏域で選出してほしいとのこと。事業としては単年度の実施となる。士会としては、富士・東部は坂本先生、中北は鈴木先生、笠井先生(圏域毎1人ではあるが、北杜市では事業が決まっているため2名選出となった)。峡南は始め選出なしだったが、しもべ病院より2名選出することとなった。峡東は石和温泉病院の原田先生を選出した。以上計6名の選出で県からの了承は得ている。研修は1月11日(土)・12日(日)と県の学会と重複してしまっている。

自立支援型地域ケア会議について、従来では3回研修参加した方が登録でき、会議に参加可能となっていたが、県より自立支援型地域ケア会議の助言者(ファシリテーター)を育成したいとの依頼があった。また、歯科衛生士会が独自で行う自立支援型地域ケア会議の研修会に講師として派遣依頼がきている。こちらに関しては地域支援等推進委員会が対応をしていく。

- ・地域支援事業等推進委員会

12月15日(日)に都道府県コーディネーター連絡会議へ参加した。次年度の「シルバーリハビリ体操指

導士養成事業の全国大会」の事業展開についてと「これから地域包括ケアシステムにおける理学療法士への期待」について講演があった。そこで、今後事業を東日本と西日本でブロックごとに担当者を配置すること、ブロックをさらに6つに細分化して合議体制とすること、認定講師養成講習会を各都道府県で実施可能となる話が話し合われた。その後に行われたグループワークにおいて研修実施主体がどこになるのか？研修費6万円の設定について妥当性があるか？認定講師3名の内何人かを県外から人員を派遣してもらった場合にどこが費用を負担するのか？テキストの作成期間等の問題が山積したが、今後検討していくこととなった。

## 2. 企画局企画研修部より

令和元年度第2回企画研修部研修会として以下の研修を開催予定である。

テーマ：リハビリテーション栄養と理学療法について

講師：医療法人社団清恵会田村外科病院

リハビリテーション部科長高橋浩平先生

日時：後日確認

会場：大木記念ホール

## 3. 福祉厚生局地域連携部より

11月27日に開催しました第19回地域理学療法研修会について報告。約80名の参加があり、グループワークではとても活発な意見交換ができた。特に情報収集の方法やマネジメント等についても話されていた。

## 4. 学術大会局士会学術集会部より

来年1月12日(日)に開催予定の第23回山梨県理学療法士会学術集会の進捗状況について報告。事前参加申し込みは12月15日(日)に締め切りとなり、現在195名の事前参加登録を受けている。学術集会誌は各施設、自宅会員へ郵送済み。特別講演を依頼しています柿崎先生は前泊をする予定となっている。託児室の利用は1家族2名の予定となっている。

引き続き参加の呼びかけをお願いする。

## 5. スポーツ理学療法部より

以下の大会・勉強会に参加した報告とスポーツ理学療法勉強会を予定している。

### ①U14ATF/U18ITF 国際 jr テニス大会

日時：11月2日(土)～8日(金)、11月9日(土)～5日(金)、11月25日(月)～12月1日(日)

場所：須玉クラブヴェルデ

### ②躰道全国大会

日時：11月24日(日)

場所：小瀬スポーツ公園

### ③スポーツ理学療法学会

日時：12月7日(土)～8日(日)

場所：帝京平成大学

### ④スポーツ理学療法勉強会

テーマ：スポーツ現場の症例検討

日 時：1月28日(火) 19時～

講 師：山梨大学医学部付属病院 小尾伸二先生 他  
スポーツ部員

テーマ：エリートアスリートに対するトレーナー活動

日 時：2月21日(金) 19時～

講 師：卓球エリートアカデミー 庄子理絵先生

テーマ：スポーツ現場での徒手療法

日 時：3月7日(土)

講 師：埼玉医科大学教授 赤坂清和先生

※翌日は実技指導を受ける部内研修を予定

#### 5. 事務管理局より

##### ①後援承諾 (2件)

第12回義肢適合支援のあり方研究会

第23回日本臨床脳神経外科学会

##### ②来年の総会の日程について

5月19日(火)に決定し、翌週26日(火)が拡大理事会となる。

##### ③令和2年度予算(案)の作成について

今年と来年(白紙)を送るので先述した研修会の参加人数と協力者数との関係を考えて上で算出をお願いします。

##### ③学校保健推進執行委員会について

初の会合が2月2日(日)に東京で予定されている。担当の長田先生には参加の方向性で了承を得ている。

④会員管理システムの入れ替えに伴う講習会が2月9日(日)に予定されている。事務局長有泉が参加する方向となっている。

##### ⑤財務部より

甲府信金より今まで6文字以内であれば通帳の摘要欄に文字の入力が可能であったが、本サービスが12月30日(月)で終了となり、今後は通帳に手書き入力となる。

#### III. 次回の理事会日程について

日時 令和2年1月28日(火) 19:00～

場所 県士会事務所

連絡 1月24日(金)までに審議事項および資料

を事務管理局(有泉理事)へ提出する。

議題がない場合でも事務管理局へ連絡する。

理事会資料は事前にメールで各理事へお伝

えするが、プリントアウトは事務所で行い用

意をしておく。